

令和 7 年度
教育研究活動等に係るデータ分析による

自己点検・評価報告書（補刷）

令和 7 年 12 月
福井大学
全学内部質保証委員会

目 次

1. 教育研究活動等に係るデータ分析による	
自己点検・評価（補刷）について	1
2. 自己点検・評価結果（自己点検・評価シート）	4
3. 分析基本データ集	7

1. 教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価（補刷）について

【自己点検・評価実施期間】

本自己点検・評価は、令和7年11月から令和7年12月に実施した。

【評価項目】

別紙「分析基本データ一覧とその評点」のうち、項目番号1-②' 及び2-①

【各データの基準時】

員数群-補：令和7年11月1日現在

実績群-補：令和6年4月1日～令和7年3月31日（追って集計が必要なデータ）

※評価実施手順等の詳細は、令和7年6月実施「令和7年度教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価報告書」を参照のこと。

【自己点検・評価結果の概要】

「教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価」の対象とする分析基本データのうち、項目番号1-②'（員数群-補）及び2-①（実績群-補）について、自己点検・評価を実施した結果は以下のとおりである。

1-②' 入学定員充足率・平均入学定員充足率（秋入学を含む）

一部の部局で、評価基準等を満たしていない

2-① 研究論文数（年間）（教員当たりの業績数）

評価基準等を満たしていない

分析基本データのうち、上記以外のデータについて、本年度6月に自己点検・評価を実施した。そこで、今回の評価結果を併せ、今年度の評価結果をまとめると以下のとおりであり、各分析基本データの評価結果は別紙「分析基本データ一覧とその評点」のとおりとなっている。

分析基本データ総数	評点 ¹⁾		
	1	2	3
19	6	6	7

- 1) 評点 1. 評価基準等を満たしている
2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
3. 評価基準等を満たしていない

本年度は、上記のように、分析基本データのうち、6データは「一部の部局で、評価基準等を満たしていない」、7データは「評価基準等を満たしていない」と判定された。特に、本年度、設定した基準等を満たしていない分析基本データは次のとおりである。

「一部の部局で、評価基準等を満たしていない」

- ・1-① 志願者数・受験者数
- ・1-② 入学定員充足率・平均入学定員充足率
- ・1-②' 入学定員充足率・平均入学定員充足率（秋入学を含む）
- ・1-③ 収容定員充足率（未充足の状況）
- ・1-⑥ 標準修業年限内卒業・修了率
- ・1-⑦ 標準修業年限×1.5年以内での卒業・修了率

「評価基準等を満たしていない」

- ・1-⑤ 授業外学修時間
- ・2-① 研究論文数（年間）（教員当たりの業績数）
- ・2-② 科研費採択件数・内定金額（教員当たりの獲得額）
- ・3-① 外国人留学生数
- ・3-② 海外派遣学生数
- ・4-③ 若手教員採用比率
- ・4-④ 女性教員比率

上記のデータの中には法人評価・認証評価で確認が求められる事項や共通指標に該当するものもあり、 それぞれ、評価基準等を満たすよう、改善に向けた取組が求められる。

別紙 分析基本データ一覧とその評点

「教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価」の分析基本データ項目一覧とその評価結果

分類	基本データ（項目）		粒度	基準等	対象年度	実績（前年度）／員数（今年度）	当該年度の評点	備考
教育	1-①	志願者数・受験者数	学部・学科 研究科・課程	過去5年間の平均以上	当該年度5月現在 (春期)	員数群	2	
	1-②	入学定員充足率 ・平均入学定員充足率	学部・学科 研究科・課程	認証評価等の基準 (目安:100%以上、130%未満)	当該年度5月現在	員数群	2	モニタリング項目
	1-②'				及び11月現在 (秋期を含む)	員数群一補	2	
	1-③	収容定員充足率（未充足の状況）	学部・学科 研究科・課程	法人評価等の基準 (90%以上: 医・工・教研、 医研博・工研 80%以上: 教・国・医研修、 国研)	当該年度5月現在	員数群	2	モニタリング項目
	1-④	収容定員超過率	学部 研究科	法人評価等の基準 (110%)	当該年度5月現在	員数群	1	モニタリング項目
	1-⑤	授業外学修時間	全学・学部	第3期末より増 (12.5時間)	前年度	実績群	3	
	1-⑥	標準修業年限内卒業・修了率	各部局	本学独自の基準 (目安: 教研: 85% 工研前: 82.5% 教・医・工・国研: 80% 国: 70% 工研後: 50% 医研: -)	前年度	実績群	2	共通指標 モニタリング項目
	1-⑦	標準修業年限×1.5年以内での卒業・修了率	各部局	法人評価等の基準 (目安: 教・医・工・国: 90%以上 教研・医研修・工研前・国研: 85%以上 医研博・工研後: 70%以上)	前年度	実績群	2	モニタリング項目
	1-⑧	学位授与数（博士）	医学系・工学	前年度より増	前年度	実績群	1	共通指標
	1-⑨	就職率	全学・部局	高い水準を維持 (97.2%)	前年度	実績群	1	特徴データと重複 (2)-1-B他
研究	2-①	研究論文数（年間）（教員当たりの業績数）	全学	第3期平均値より増	前年度	実績群一補	3	共通指標 3年間の平均ではなく、1年ごとのデータを取り扱う
	2-②	科研費採択件数・内定金額（教員当たりの獲得額）	全学	第3期平均値より増	前年度	実績群	3	研究推進課から提供のデータとし、共通指標数値とは異なる可能性あり
	2-③	外部資金獲得状況:総額・内訳別総額（教員当たりの受託・共同研究受入額）	全学	第3期平均値より増	前年度	実績群	1	研究推進課から提供のデータとし、共通指標数値とは異なる可能性あり
グローバル	3-①	外国人留学生数	全学	設定した目標値 (第3期の正規留学生数の年平均(118名)より増加)	前年度	実績群	3	特徴データと重複 (7)-1-A
	3-②	海外派遣学生数	全学	設定した目標値 (第3期のJASS海外留学支援制度の支援実績の年平均(171名)より増加)	前年度	実績群	3	
教員数	4-①	基幹教員数・専任教員数	学部・学科 研究科・課程	設置基準	当該年度5月現在	員数群	1	
	4-②	研究指導・補助教員数	学部・学科 研究科・課程	設置基準	当該年度5月現在	員数群	1	
	4-③	若手教員採用比率	人事で設定した粒度	人事で策定した目標値 (若手教員の採用比率: 年平均60%以上)	前年度	実績群	3	共通指標 「福井大学における教員の総合的な人事計画」に掲げる目標値（この計画における若手教員：当該年度の年度末における年齢が40歳未満の者）
	4-④	女性教員比率	人事で設定した粒度	人事で策定した目標値 (R8年度末までの目標値: 22%以上)	当該年度5月現在	員数群	3	「福井大学一般事業主行動計画」に掲げる目標値

当該年度の評点 1. 評価基準等を満たしている

2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
3. 評価基準等を満たしていない

2. 自己点検・評価結果（自己点検・評価シート）

令和7年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：当該年度員数一覧)

分類：	教育
基本データ項目：	1-②' 入学定員充足率・平均入学定員充足率（秋入学含む）
点検・評価結果	
評点	2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
コメント	医学系研究科（看護学専攻、統合先進医学専攻）、工学研究科（総合創成工学専攻）、国際地域マネジメント研究科（国際地域マネジメント専攻）が入学定員充足率及び平均入学定員充足率ともに目標値を満たしていない。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	上記により、評価基準（目標値の下限）を満たさない部局等については、毎年度の定員確保に向けた改善が求められる。
備考	

令和7年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ : 前年度実績一覧)

分類 :	研究				
基本データ項目 :	2-① 研究論文数（年間）（教員当たりの業績数）				
点検・評価結果	<table border="1"><tr><td>評点</td><td>3. 評価基準等を満たしていない</td></tr><tr><td>コメント</td><td>教員当たりの平均論文数は 0.95 編となり、目標値（1.08 編）に達していない。また、教育系を除くすべての学系において、教員当たりの平均論文数は減少している。</td></tr></table>	評点	3. 評価基準等を満たしていない	コメント	教員当たりの平均論文数は 0.95 編となり、目標値（1.08 編）に達していない。また、教育系を除くすべての学系において、教員当たりの平均論文数は減少している。
評点	3. 評価基準等を満たしていない				
コメント	教員当たりの平均論文数は 0.95 編となり、目標値（1.08 編）に達していない。また、教育系を除くすべての学系において、教員当たりの平均論文数は減少している。				
特記事項	<table border="1"><tr><td>優れている点</td><td></td></tr><tr><td>改善を要する点</td><td>教育系を除くすべての学系において、教員当たりの平均論文数が減少傾向にある。僅かに数値が上昇した教育学系も含め、低調に推移する論文数だが、共通指標などに係る重要な指標であることから早急な改善が必要である。</td></tr></table>	優れている点		改善を要する点	教育系を除くすべての学系において、教員当たりの平均論文数が減少傾向にある。僅かに数値が上昇した教育学系も含め、低調に推移する論文数だが、共通指標などに係る重要な指標であることから早急な改善が必要である。
優れている点					
改善を要する点	教育系を除くすべての学系において、教員当たりの平均論文数が減少傾向にある。僅かに数値が上昇した教育学系も含め、低調に推移する論文数だが、共通指標などに係る重要な指標であることから早急な改善が必要である。				
備考					

3. 分析基本データ集

分析基本データ集 1 - ②'入学定員充足率・平均入学定員充足率 (秋入学含む)

← ↻ →

年度	入学定員充足率・平均入学定員充足率				
	学部・研究科	入学定員	入学者数	入学定員充足率	平均入学定員充足率
2025	連合教職開発研究科	60	63	105.0%	100.3%
2024	教職開発専攻	60	63	105.0%	100.3%
2023	医学系研究科	40	38	95.0%	89.9%
2022	看護学専攻	12	10	83.3%	85.0%
2021	看護学専攻 (博士後期課程)	3	4	133.3%	133.3%
2020	統合先進医学専攻	25	24	96.0%	91.2%
2019	工学研究科	305	350	114.8%	111.2%
2018	産業創成工学専攻	88	113	128.4%	117.8%
2017	安全社会基盤工学専攻	90	100	111.1%	109.6%
2016	知識社会基礎工学専攻	105	116	110.5%	111.3%
2015	総合創成工学専攻	22	21	95.5%	91.8%
大学院	国際地域マネジメント研究科	7	5	71.4%	82.9%
	国際地域マネジメント専攻	7	5	71.4%	82.9%
	合計	412	456	110.7%	107.0%

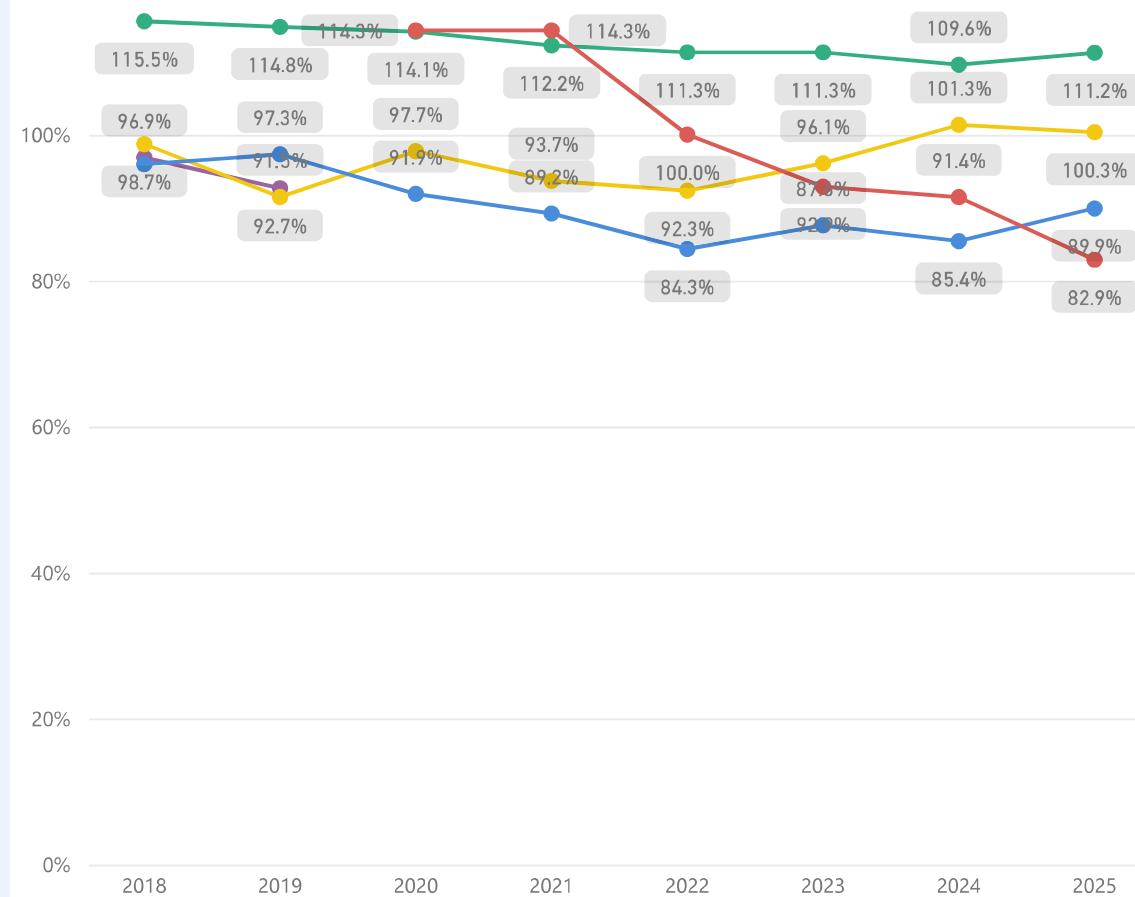
目標値

入学定員充足率 **100%以上130%未満**

平均入学定員充足率※ **100%以上130%未満** ※当年度を含む過去5年の平均

【参考】平均入学定員充足率の推移 (学部・研究科別)

● 教育学研究科 ○ 連合教職開発研究科 △ 医学系研究科 ■ 工学研究科 ■ 国際地域マネジメント研究科



分析基本データ集 2 – ①研究論文数

← ↻ →

年度	研究論文数（学系別）				目標値
	学系区分	研究論文数	教員数	教員あたりの平均論文数	
2024	教育系	17	77	0.22	第3期平均値より増
2023	保健系	317	332	0.95	第3期教員当たりの平均論文数： 1.08編
2022	工学系	252	170	1.48	(参考) 第3期平均論文数： 679編
2021	総合文系	9	34	0.26	
2020	その他	2	15	0.13	
2019	合計	597	628	0.95	
2018					
2017					
2016					

【参考】教員当たりの平均論文数の推移（学系別）

